

<p style="text-align: center;">しかはま自然観察会</p> <p style="text-align: center;">のらえもん</p> <p style="text-align: center;">『人も 自然も みんなともだち !』No.1 2</p>	<p>代表責任者 古高 利男</p> <p>☎270-1132 我孫子市湖北台 2-14-7</p> <p>☎090-7275-9890 2014, 11, 8</p>
---	--

第12回活動「木工クラフト、ドングリ笛をつくろう」

- ・・・ドングリで、どうやったら笛になるのかな？
- ・・・どんな音がでるのだろう？
- ・・・ドングリ、さがしてこなくちゃ！

- 1, 日 時： 2014年11月8（土）午後1時30分～3時30分
- 2, 場 所： 鹿浜西小学校体育館
- 3, 共 催： ○のらえもん  
○いきいき館  
○鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会
- 4, 参加者： 全体で14名  
のらえもん参加者5名
- 5, 講 師： 小橋（いきいき館職員）  
スタッフ： ○のらえもんの皆さん  
○いきいき館の皆さん  
○鹿浜西小学校開かれた学校づくり協議会の皆さん

6, 活動の様子

マテバシイのドングリで、笛をつくりました。

- ①マテバシイのはかまのところを、コンクリートにこすりつける。
- ②削っていくと、実のところにとどりつく。
- ③その実を、釘やきりなどを使って、取り出す。
- ④全部取り出したら、口に当てて吹いてみる。
- ⑤音の出るところを探す。
- ⑥音が出たら、完成！

音の出たときの子どもたちの「顔」、それまでの心配そうな表情が、一気に笑顔に変わりました。

年に一度はいきいき館と共催で、子どもたちのための活動を続けています。

## 草木染めのやりかた

- ① タマネギの茶色い皮を集める。  
たくさん必要になるので、集め方を工夫する。  
茶色い皮を使うので、秋から冬にかけてが草木染めの時期になります。
- ① タマネギの皮を、煮詰めて、煮汁をつくる。  
大きな鍋にタマネギの皮を入れ、水を8分目入れ、強火で沸騰させる。  
濃い色が出てきたら、煮汁だけ別の容器に入れて冷ます。  
冷めたら、使う当日まで、2リットルのペットボトルに入れておくと、利用しやすい。
- ② 染めたい白いハンカチやTシャツに模様をつける。  
模様をつけるために、輪ゴム・たこ糸・ビー玉・ドングリ・割り箸などを利用し、白い部分が出るようにする。  
ここは、工夫のしどころ！
- ③ 定着液をつくる。  
黄色く染めたいときは、白菜漬けに使うミョウバンを、草色に染めたいときは、ナス漬けに使うミョウバンを利用する。  
容器に溶かしておく。
- ④ タマネギ汁の容器と、定着液の容器を用意する。
- ⑤ 染める作業開始  
◎タマネギ液に浸けて、ゆっくり40回もむ。絞る。  
◎定着液に浸けて、ゆっくり40回もむ。絞る。  
◎上記の作業を、3回繰り返す。
- ⑥ 水洗いする。  
色が出なくなるまで、よく水洗いする。絞る
- ⑦ アイロンをかける。  
新聞紙を広げ、その上に濡れたハンカチをおく。  
上からアイロンをかけて、乾かしながら皺をのばしていく。
- ⑧ 完成！！
- ⑨ 出来上がった作品を、みんなで鑑賞しあったり、記念写真を撮ったりして、思い出づくりをしましょう。
- ⑩ 残った液は、まとめておき、みんなで使えるようにしておくと、液の無駄が省け、また繰り返しの草木染めができ、より楽しむことができます。

\*定着液は、一時的に手に染まりますが、すぐに落ちてくれます。もし、気になるようでしたら、手袋をしてください。

\*家族で楽しめます。

子どもたちにとっては水遊び・数遊びにもなるようです。

模様の偶然性に、誰も失敗はありません。